

きずな

2021 **7** July

今号の題字
綾町立綾中学校 3年
山口 綺愛さん



イオンの森で

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、毎年行っていたイオンの森での植樹は中止となりましたが、その代わりとして綾中学校の1年生が「森の健康診断」という環境学習を行いました。綾町と協働で森づくりをしているイオン環境財団、リモートセンシング技術センターの支援を受け、生徒は、イオンの森の対象木の高さや太さを測定し、データを専用のタブレットに入力。樹木の体積を計算し、そこから樹木の二酸化炭素の吸収量を算出しました。そして、その結果を人工衛星やドローン撮影のデータと比較しました。フィールド調査と最先端の技術を組み合わせた森の二酸化炭素蓄積量を毎年観測するというユニークな取組がスタートしました。

【教頭 隈元修二】

CONTENTS

- ② 宮崎県PTA連合会定期総会
- ③ 宮崎県PTA連合会役員紹介
- ④ ネットモラル・メディアリテラシー 県内のPTA活動紹介
- ⑤ みやざき家庭教育サポートプログラム コラム「三輪車」
- ⑥ トピックス「宮崎市立広瀬中学校」編集後記



宮崎県PTA連合会
ホームページ



編集・発行：宮崎県PTA連合会

発行責任者：岡本 吉弘

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

http://www.miyazakippta.com E-mail: mken-pt@io.ocn.ne.jp

石崎川河川清掃ボランティア

川を守り、浜の環境を保つ、地域一帯のボランティア活動

〔宮崎市立広瀬中学校〕（八源寺 正弘校長 生徒数299名）

広瀬中学校の校区の東側に広がる石崎浜は『アカウミガメ及びその産卵地』として、宮崎県の指定天然記念物になっています。このアカウミガメは、毎年5月～10月ごろにかけて産卵し、60日～80日ぐらいで子ガメとなり、海へと帰って行きます。日本で産卵するものは、メキシコのカリフォルニア半島沖まで回遊し、大きく成長した後、日本近海まで帰ってくるそうです。私たちの地域にとっては、海のかなたから来る大切な訪問者です。

この石崎浜には、校区内を流れる石崎川が注ぎ込み、上流からの砂礫を運んで、ウミガメの浜を育てています。しかし、近年は海岸の浸食が進み

月の『市民一斉清掃の日』に合わせ

て実施しているのが、ここで紹介する『石崎川河川清掃ボランティア』です。広瀬小学校区地域づくり協議会の

主催で、我々PTAが協賛し、広瀬中学校生徒会と地域住民の参加のもとで行っています。

石崎浜や石崎川は、釣り場やサーフポイントも多く、自然を楽しむ人々が多数訪れる場所です。以前は、国民宿舎『石崎浜荘』があり、今はそこに『鯨館』があつて、観光客の姿も多く見られます。ほとんどの方はマナーを守って利用しておられますが、中には、ごみを放置したり、浜を荒らしたりする人もいて、大切な自然が痛めつけられています。

平成20年から始まった本事業は、こういった問題に心を痛めた生徒たちが、生徒会の活動として『お助け隊』を始めたのがきっかけです。年末の大掃除の一環として、

地域の大人にも声をかけ、共に汗を流す社会貢献活動として実施しました。当初は、住民の要望に応じて、公園、公民館、通学路などの清掃を行っていましたが、その後、石崎川堤防のゴミ拾いも行うようになりました。

平成25年には、現在のように地域づくり協議会が主催することとなり、『重点清掃地域の大掃除』という観点で、石崎川と石崎浜の清掃を中心に行うようになりました。あくまでもボランティアによる参加のスタイルですが、

中学生は、部活動の大会など他に用事がない限り、ほとんど全員が参加してくれま

す。PTAをはじめ、大人の参加も活発で、毎年300名以上の力で、愛すべきふるさとの自然を守り続けています。みんなで協力し合い、気持ちの良い汗を流すことで、親子の絆、そして、地域のつながりを深めています。

【PTA会長 宮下 寛明】